

令和3年度 財務諸表の概要



愛媛大学

貸借対照表の概要

■貸借対照表とは

国立大学法人の財政状態について、決算日（令和4年3月31日）における全ての資産、負債及び純資産を示したものです。

貸借対照表【資産の部】

主な増減理由

(単位：百万円)

	令和2年度	令和3年度	増減額	
土地	29,980	29,963	△ 18	
建物等	27,961	28,251	290	
工具器具備品	5,594	6,513	919	医療機器等の導入による増加
図書	5,165	5,151	△ 14	
ソフトウェア	1,929	1,586	△ 343	減価償却による減少
現金及び預金	12,141	10,797	△ 1,344	
有価証券・長期性預金	2,235	2,633	398	公社債取得による増加
未収附属病院収入	4,769	5,225	456	
その他の未収入金	1,112	854	△ 258	補助金、受託研究等に係る未収入金の減少
その他の資産	1,184	880	△ 304	長期借入金等の複数年事業による建設用前払金等の減少によるもの
資産	92,070	91,852	△ 218	

※百万円未満四捨五入のため、合計は一致しない場合があります。

【資産の部について】

令和3年度末の資産合計は、前年度比2.2億円減の918.5億円となっています。

主な減少要因

- ・ソフトウェアの減価償却に伴う資産の減少が3.4億円
- ・長期借入金等（複数年事業）の建設用前払金等による其他資産の減少が3.0億円



貸借対照表の概要

貸借対照表【負債の部】

主な増減理由

(単位：百万円)

	令和2年度	令和3年度	増減額
資産見返負債	13,419	13,245	△ 174
借入金	10,391	9,842	△ 549
運営費交付金債務	184	—	△ 184
寄附金債務	4,036	4,281	245
前受受託研究費等	738	876	138
未払金	6,583	7,042	459
その他の負債	4,396	3,965	△ 431
負債：計	39,746	39,252	△ 495

借入金の償還に伴う減少

年度末の予算執行増加に伴う増加

リース資産の減少に伴う減少

※百万円未満四捨五入のため、合計は一致しない場合があります。

【負債の部について】

令和3年度末の負債合計は、前年度比5.0億円減の392.5億円となっています。

主な減少要因

- ・借入金の償還に伴う減少が5.4億円



貸借対照表【純資産の部】

主な増減理由

(単位：百万円)

	令和2年度	令和3年度	増減額
資本金	36,050	36,050	0
資本剰余金	4,584	5,897	1,313
前中期目標期間繰越積立金	6,760	6,760	0
目的積立金	1,289	136	△ 1,153
積立金	1,796	2,896	1,100
当期末処分利益	1,844	861	△ 983
純資産：計	52,324	52,600	276
負債・純資産	92,070	91,852	△ 218

目的積立金等による資産取得に伴う増加

目的積立金の執行による減少

利益処分による増加

損益計算書の当期総利益と一致します

※百万円未満四捨五入のため、合計は一致しない場合があります。

【純資産の部について】

令和3年度末の純資産合計は、前年度比2.8億円増の526億円となっています。

主な増加要因

- ・目的積立金等による資産取得に伴う増加



損益計算書の概要

■損益計算書とは

一会計期間における国立大学法人の運営状況を示したものです。業務運営に要した費用、事業の実施や業務の実現に応じて計上する収益を示しています。

損益計算書

主な増減理由

(単位：百万円)

	令和2年度	令和3年度	増減額	
経常費用				
業務費	43,489	46,090	2,601	
教育経費	2,228	2,339	111	高額医薬品適用患者の増加等による費用の増加
研究経費	1,945	2,089	144	
診療経費	15,340	16,537	1,197	退職給付引当金の計上方法変更、 コロナワクチン接種に係る手当の増による増加
教育研究支援経費	471	480	9	
受託研究・事業費等	1,296	1,461	164	移設撤去費、委託費等の増加
人件費	22,209	23,185	976	
一般管理費	1,013	1,275	262	
財務費用等	83	66	△ 17	
経常費用 計：	44,585	47,431	2,846	
経常収益				
運営費交付金収益	11,987	11,818	△ 169	
学生納付金収益	5,508	5,461	△ 47	高額医薬品適用患者の増加による収益の増加
附属病院収益	22,031	23,108	1,076	
受託研究・寄附金等収益	2,437	2,739	302	受託研究、寄附金の受入の増加
資産見返負債戻入	1,155	1,206	51	
その他収益	3,173	3,239	66	
経常収益 計：	46,292	47,571	1,279	
経常利益（△経常損失）	1,707	140	△ 1,567	
臨時損失	8	11	3	
臨時利益	12	380	368	中期目標期間最終年度の清算に伴う増加
当期純利益	1,711	509	△ 1,201	
目的積立金取崩額	134	351	218	
当期総利益（△当期総損失）	1,844	861	△ 983	貸借対照表の当期末処分利益と一致します

※百万円未満四捨五入のため、合計は一致しない場合があります。

【経常費用について】

令和3年度の経常費用は、前年度比28.5億円増の474.3億円となっています。

主な増加要因

- ・高額医薬品適用患者の増加等による診療経費の増加が12.0億円
- ・退職給付引当金の計上方法変更、コロナワクチン接種に係る手当の増による人件費の増加が9.8億円

【経常収益について】

令和3年度の経常収益は、前年度比12.8億円増の475.7億円となっています。

主な増加要因

- ・高額医薬品適用患者の増加による附属病院収益の増加が10.8億円

令和3年度の当期総利益は8.6億円となっており、うち2.68億円については、文部科学省への申請のうえ、令和4年度以降、前中期目標期間繰越積立金として使用できます。



キャッシュ・フロー計算書の概要

■キャッシュ・フロー計算書とは

一会計期間における国立大学法人の資金（キャッシュ）の収支状況について、一定の活動区分（業務活動・投資活動・財務活動の3区分）に分類して示したものです。



(単位：百万円)

	令和2年度	令和3年度	増減額
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	4,951	4,383	△ 568
原材料等支出	△ 17,107	△ 18,633	△ 1,526
人件費支出	△ 22,584	△ 22,949	△ 366
その他の業務支出	△ 969	△ 1,009	△ 40
運営費交付金収入	12,465	12,503	38
学生納付金収入	4,972	4,959	△ 13
附属病院収入	21,929	22,646	718
受託研究・補助金・寄附金収入	5,064	5,633	569
その他収入	923	1,164	241
預り金の増加（または減少）	257	68	△ 189
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,683	△ 2,331	352
有価証券の取得による支出	△ 1,224	△ 1,001	223
有価証券の償還による収入	1,500	600	△ 900
定期預金等の預入による支出	△ 20,400	△ 17,400	3,000
定期預金等の払戻による収入	20,200	19,400	△ 800
その他投資による支出	△ 300	△ 0	300
その他投資による収入	300	0	△ 300
有形固定資産等の取得による支出	△ 4,413	△ 4,965	△ 552
有形固定資産等の売却による収入	6	0	△ 6
施設費による収入	1,635	1,024	△ 612
資産除去債務の履行による支出	—	△ 4	△ 4
その他	13	16	3
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,276	△ 1,397	△ 121
学位授与機構債務負担金の返済支出	△ 542	△ 477	65
長期借入金の借入による収入	546	748	202
長期借入金の返済による支出	△ 820	△ 820	0
リース債務等の返済による支出	△ 405	△ 788	△ 383
利息の支払い額	△ 55	△ 60	△ 5
IV 資金増加額（又は減少額）（I + II + III）	993	656	△ 337
V 資金期首残高	5,648	6,641	993
VI 資金期末残高（IV + V）	6,641	7,297	656

主な増減理由

附属病院収入及び受託研究等に係る収入が増加しています。
また、診療経費等の増加に伴い原材料等の支出が増加しています。

定期預金等の預入による支出や有価証券の償還による収入が減少しています。

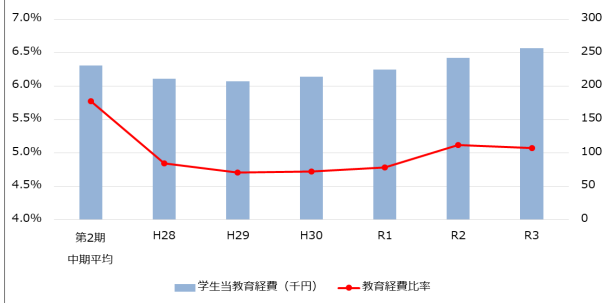
リース債務等の返済による支出や附属病院の施設等の整備に係る長期借入金の借入による収入が増加しています。

※百万円未満四捨五入のため、合計は一致しない場合があります。

※キャッシュ・フロー計算書の「期末資金残高」には定期預金が含まれないため、貸借対照表の現金及び預金とは一致しておりません。

財務指標による経年比較について

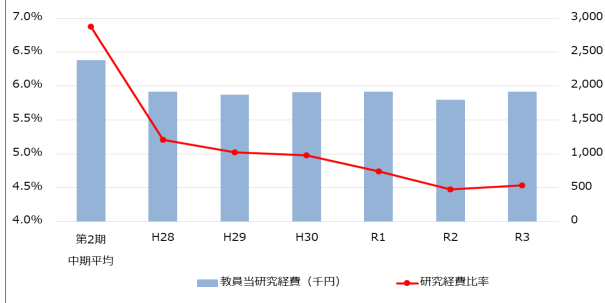
教育経費比率及び学生当教育経費



	第2期中期平均	H28	H29	H30	R1	R2	R3	第3期中期平均
教育経費比率	5.8%	4.8%	4.7%	4.7%	4.8%	5.1%	5.1%	4.9%

	第2期中期平均	H28	H29	H30	R1	R2	R3	第3期中期平均
学生当教育経費(千円)	231	211	207	214	225	242	257	226

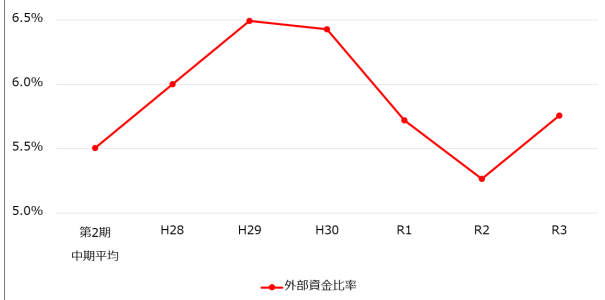
研究経費比率及び教員当研究経費



	第2期中期平均	H28	H29	H30	R1	R2	R3	第3期中期平均
研究経費比率	6.9%	5.2%	5.0%	5.0%	4.7%	4.5%	4.5%	4.8%

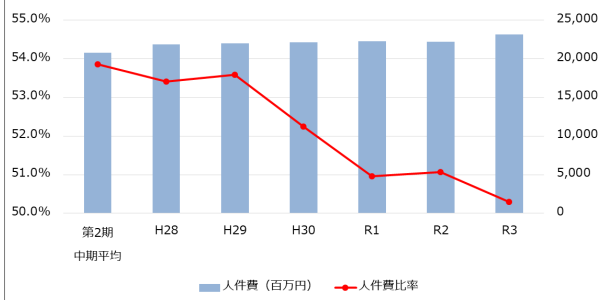
	第2期中期平均	H28	H29	H30	R1	R2	R3	第3期中期平均
教員当研究経費(千円)	2,380	1,915	1,871	1,908	1,913	1,794	1,918	1,887

外部資金比率



	第2期中期平均	H28	H29	H30	R1	R2	R3	第3期中期平均
外部資金比率	5.5%	6.0%	6.5%	6.4%	5.7%	5.3%	5.8%	5.9%

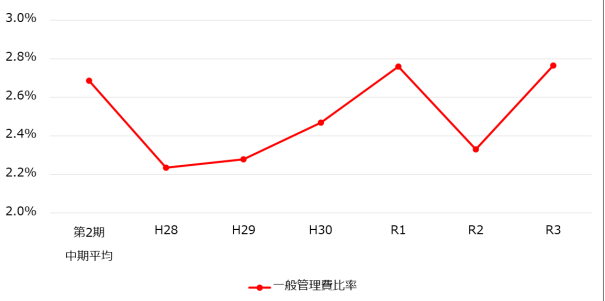
人件費比率



	第2期中期平均	H28	H29	H30	R1	R2	R3	第3期中期平均
人件費比率	53.9%	53.4%	53.6%	52.2%	51.0%	51.1%	50.3%	51.9%

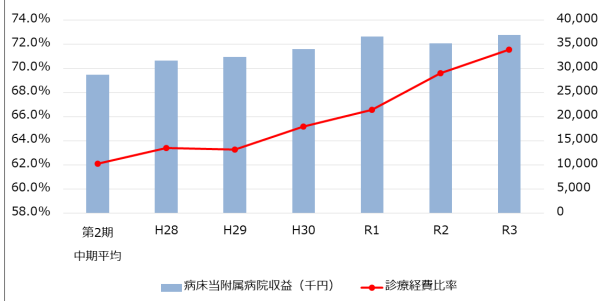
	第2期中期平均	H28	H29	H30	R1	R2	R3	第3期中期平均
人件費(百万円)	20,772	21,875	21,996	22,121	22,256	22,209	23,185	22,274

一般管理費比率



	第2期中期平均	H28	H29	H30	R1	R2	R3	第3期中期平均
一般管理費比率	2.7%	2.2%	2.3%	2.5%	2.8%	2.3%	2.8%	2.5%

診療経費比率及び病床当附属病院収益



	第2期中期平均	H28	H29	H30	R1	R2	R3	第3期中期平均
診療経費比率	62.1%	63.4%	63.3%	65.2%	66.6%	69.6%	71.6%	66.6%

	第2期中期平均	H28	H29	H30	R1	R2	R3	第3期中期平均
病床当附属病院収益(千円)	28,683	31,667	32,394	33,983	36,661	35,194	36,913	34,469

財務指標	判断 *1		計算式	R3年度	【参考】 第2期中期期間 平均
教育経費比率	↑	活動性	教育経費比率 (%) =教育経費÷業務費×100	5.1%	5.8%
学生当教育経費	↑		学生当教育経費 (千円) =教育経費÷学生実員	257千円	230千円
研究経費比率	↑		研究経費比率 (%) =研究経費÷業務費×100	4.5%	6.9%
教員当研究経費	↑		教員当研究経費 (千円) =研究経費÷教員実員	1,917千円	2,368千円
診療経費比率	↓	収益性	診療経費比率 (%) =診療経費÷附属病院収益×100	71.6%	62.1%
病床当附属病院収益	↑	収益性	病床当附属病院収益 (千円) =附属病院収益÷病床数	36,795千円	28,683千円
外部資金比率	↑	発展性	外部資金比率 (%) =外部資金収益÷経常収益×100	5.8%	5.5%
人件費比率	↓	効率性	人件費比率 (%) =人件費÷業務費×100	50.3%	54.0%
一般管理費比率	↓		一般管理費比率 (%) =一般管理費÷業務費×100	2.8%	2.7%

*1 ↑高い方が望ましい、↓低い方が望ましい

活動性

教育研究活動が適正な水準で実施されているか

教育経費比率：教育経費が大学の業務費に占める割合であり、大学の業務における教育の比重を判断する指標
 研究経費比率：研究経費が大学の業務費に占める割合であり、大学の業務における研究の比重を判断する指標
 学生当教育経費：学生1人あたりの教育経費であり、大学における教育活動の活発さを判断する指標
 教員当研究経費：教員1人あたりの研究経費であり、大学における研究活動の活発さを判断する指標

効率性

経営が効率的に実施されているか

人件費比率：人件費が大学の業務費に占める割合であり、人件費の削減計画等に基づく効率的な運営がされているかどうかを示す指標
 一般管理費比率：主たる業務とされる教育研究以外の管理運営に係る経費と事業経費との割合であり、効率的な運営がされているかどうかを示す指標

発展性

多様な資金（外部資金）を確保して大学としての財源を安定させているか

外部資金比率：経常収益に対する外部から獲得した収益の比率であり、大学の外部資金による活動状況及び収益状況を判断する指標

収益性

自己収入について、経費に見合う収益確保がなされているか

診療経費比率：附属病院収益に対する診療経費の比率であり、附属病院の収益性を判断する指標
 病床当附属病院収益：病床1床あたりの病院収益であり、附属病院における収益性を判断する指標
 受取利息比率：現金預金、有価証券からどれだけの利息を得ているかを示す指標



EHIME UNIVERSITY

【お問い合わせ先】

**国立大学法人愛媛大学
財務部財務企画課決算チーム**

〒790-8577

松山市道後樋又10番13号

TEL : (089) 927-9062

FAX : (089) 927-9068

E-mail : bunseki@stu.ehime-u.ac.jp